

大空町議会【議会報告・視察調査報告会】 主な質問・意見等集約表

会場	開催日	開催時間	参加者		
			町民	議員	計
大空町議事堂文化ホール	平成24年2月16日(木)	18:00 ~ 20:20	14人	12人	26人
主な質問・意見等		議会側の回答			
配付資料が多いため、各資料に番号を付すべき。そうすれば、説明する側も受ける側もわかりやすい。		今後配慮する。			
「滞納対策としてのインターネット公売について」を視察項目としたようだが、大空町でも差押え物件をインターネット公売にかける構想があるのか。		担当課において、昨年差押えを行った経過もあり、今後の滞納対策の方策の一つとして、そういった取組も今後必要ではないかということで、検討しているとの報告を受けている。			
議員の任期4年のうちに1度、道外で視察研修を実施する旨の話があったが、そういう決めごとがあるのか。		任期4年のうちに1度の道外視察ということで、予算対応いただいているが、「きまり」というわけではない。 「きまりだから視察に行く」ということではなく、その機会を有効に活用させていただき、先進事例などを直接見聞することで感じる、学ぶことは大きいと感じている。			
「障がい者福祉センターの運営について」に関し、視察先の取組内容等の報告を受けたが、まったく同じことが美幌町の「しゃきっとプラザ」で行われており、そこへ行けば目的が達成できたのでは。		近隣でも同様の取組をしているところもあるが、もう一步踏み込んで、いろいろな事例を見てくるともひとつの方法ではないか。 行政側がやろうとしていることに、二元代表制を担う我々議会も目を向けなければならない。 4年任期のうち1度の道外視察は従前から取り組んでいることでもあり、決してむだなことではないと判断している。町民各位にも議会の取組として、ぜひご理解いただきたい。  目的は同じでも、それを達成するための取組方は、それぞれ、いろいろな方法がある。 (障がい者福祉という、過去から調査等を行ってきた)テーマを継続し、過去数箇所訪問させていただいてきた。今回は、本町と同等の人口規模という			

	<p>環境の中で、どのように取り組み、どういった成果をあげているかということ調べるため、(熊本県美里町の障がい者福祉センターゆきぞのを)訪問させていただきました。</p>
<p>園芸施設(=イチゴ栽培ハウス)は相当経費がかかる中で、障がい者の雇用の場など、いろいろ活用の方法は考えられると思うが、足湯を整備するという経過が、いまいわからない。</p> <p>女満別老人福祉センターにも足湯が整備されたが、あまり利用されていないようである。そういった中で、芝桜公園にも足湯を整備する理由は、芝桜開花時期には利用する方がいるかもしれないが、その時期以外はどうなのか、雇用の場が生まれることがないとするば、「むだ」とまでは言わないが、いかなものか。</p>	<p>(過去の産業建設常任委員会の議論の中では)足湯は必要ないという意見も出されており、現在も(住民の中には)そういった意見が多いことも承知している。</p> <p>ただ、湯量に余裕があるそうで、そのままお湯の温度が下がらない状況で廃湯するのであれば、足湯として活用してはどうかという説明を受けた。</p> <p>温浴施設自体が不要ではないかという意見もあることを十分考慮し、検討しているところである。</p> <p>キャンプシーズンには、そういったもの(=温浴施設)も必要ではないかということもある。</p>
<p>インターネットの時代になってきている。何かの募集についても、インターネットを介して行われることが多い。</p> <p>大空町内で、インターネットを活用できる家庭が何世帯、何パーセントほどあるか調査したことがあるか、インターネットを利活用できない方に対して、どのような対応策を考えているのか、インターネット接続環境を整えた場合、どの程度の費用がかかるのか、そういった調査をしたことがあるのか。</p>	<p>インターネット接続環境が整っている家庭がどの程度あるかといった調査は、行っていない。</p> <p>環境が整っていない方への対応策で、一番効果があるのは新聞折り込みではないかと考える。</p> <p>今後、(議会審議の)インターネット中継も検討している。</p> <p>本報告会のアンケートにも、インターネット環境が整備されているかについての調査項目を設けた。議会審議のインターネット中継をごらんになる、そういう要望が、受け手側の皆さんにどの程度あるか、これから調査する段階である。</p> <p>女満別・東藻琴両地区の間でインターネット回線整備状況に差があり、インターネット接続環境を整えている家庭でも、動画などがきちんと見られない状況も、まだある。そういう状況下で、議会審議のネット配信を開始していいかどうか、議会でも議論中である。</p> <p>いただいた意見に関して、行政側とも情報交流を</p>

	<p>行い、町全体でネット接続環境がどうなっているかを把握した中で対応することが適切ではないかと考えている。</p>
<p>町内でインターネットを視聴できるおおよその数字も把握せずに、情動的なことを(インターネットを活用して)流したり、呼びかけするということは、いかがなものか。</p>	<p>インターネット中継をする目的は、情報として全国発信することである。</p> <p>現在、議会審議風景を庁舎内、東藻琴総合支所、フロックスで視聴できるように、(庁舎間の)光回線を利用して発信している。</p> <p>それを拡大し、インターネット中継するということが、ご発言のとおり、どれほどの効果があるのか、といった考え方もある。インターネット中継を行うにあたっては、できるだけ安価で行えるように検討したい。</p> <p>視察訪問した稲城市では、初期投資に6,000万円、ランニングコストとして年間200万円程度の経費を要しているとのことだが、そこまで大きな経費をかけるつもりはない。</p> <p>情報伝達手段として、議会だより、図書館での議録閲覧、周知内容を新聞チラシに折り込むなど、いろいろな伝達手段がある中の一つとして、議会審議状況のインターネット中継を行う検討をしているということである。</p> <p>あれもこれもインターネットで周知し、それだけで対応するというのではなく、本町のインターネット回線整備状況も考慮し、多額投資するのではなく、できるだけ安価で、一つの情報伝達手段として検討していきたい。</p>
<p>昨年から、こういった形の議会報告会が開催された。前々から、議会議員と町民との意見交換の場の設定を求めていたため、開催されたことについては、非常に感謝している。</p> <p>ただ、昨年も参加人数が少なく、議員各位が全員そろっていて、住民がなぜこれしか集まらないの</p>	<p>個々の議員でも、住民各位に呼びかけを行ったが、宣伝不足の面もあるかと思う。</p> <p>今回も昨年の「行政視察調査報告会」と同様、視察報告などテーマをしぼって、試行という位置づけで開催させていただいた。</p> <p>議会でもいろいろ考えたが、議案に関連するもの</p>

<p>か。これでは論外である。ことしは(周知方法など、参加住民がふえるように)工夫するという事も聞いていたので、座れないかと思って早めに来場した。</p> <p>せっかくこういった場を設けているのに、なぜこうなのか(参加人数が少ないことに対して)、もっとすごい工夫をするべきだし、町民が議会に対して興味をもってもらえるような議会でなければならぬ。</p> <p>報告会の開催は私が望んでいたことであるし、今後も継続していただきたいと思うが、このような状況では、どうにもならない。なぜ、このような状況になるのか、もっと真剣に考えてもらいたい。</p>	<p>など、タイムリーな内容を取り入れ、議会が行政に対してどういった対応をとったのか、そのような内容を盛り込んだ報告会を実施すれば、町民の関心も高まるのではないかと。</p> <p>(報告会を開催するにあたって)内容を練ることなど、議会側の準備が不足していたのではないかと考えている。</p> <p>来年度には議会基本条例の施行を目指しており、その中で議会審議内容の情報提供など、報告会の内容を見直していかなければならないというふうに考えている。</p>
<p>本報告会は、非常に大事な会合だと思っている。</p> <p>国民感情は、不景気という状況下で静まりかえっている。そんな中、議員各位には町民の先頭に立って行動してもらわなければならない。</p> <p>ところが、町民が期待するまでの動きになっていないのではないかと。</p> <p>美幌町で起きたTPP反対運動(集会)の中心は、美幌町議会議員のようである。農協と商工会議所が一体となり、議会と協力のもとで行われた。</p> <p>先だって、本町でもTPPに関する集会が行われたが、議会は知らん顔をしている。商工会も同様。主体的に行ったのは、農協である。農協だけではだめで、町全体が団結して、対外的に見える形で大運動を起こしてほしい。</p> <p>自治基本条例に関する斜里町の記事が、新聞に載っていた。(大空町では、先日自治基本条例検討委員会委員長が、町長に対して条例案を提出したようである。)斜里町では20人の委員、1年半の間で審議時間が100時間、計40日会合を設けたそうである。</p> <p>本町では、3年の間で委員会の開催が23日、審議</p>	<p>目安箱のような取組(本町は「ふれあい意見箱」寄せられた意見や回答は、町広報誌で公表している。)は本町でも行われ、数箇所に設置し、意見等があればお寄せいただけるようにお知らせしている。また、町ホームページなどでも書き込みできるような形にもなっている。</p> <p>TPPに関する取組について、(先に本町で行われた集会には)12人の議員全員が参加している。集会にあたっては、議会として何も行ってないわけではなく、美幌町では議会が中心に行ったということで、そういった報道がされているが、美幌町と同じように行政・農協・商工会・建設業協会などと行動を共にしている。</p> <p>議会も共催の形で、先頭を切っがかかわってきた。本町で開催された集会の参加規模は500人、美幌町では350人である。</p>

<p>時間がわずか46時間、斜里町の半分に満たない。</p> <p>きょうの新聞を見ると、(斜里町では?)目安箱のようなものを数箇所に向け、町のことに何か意見があれば提出を求めることをするそうである。これからの議会や行政は、そういった積極性がほしい。</p>	
<p>昨年秋、八十数名の委員で自治基本条例案をまとめて町長へ提出しているが(?)それから半年経過しているのに音沙汰がない。</p> <p>美幌町、斜里町などでは具体的に動き出している。</p> <p>町長に提出した内容では、(個人的に)だめだと言ってきたが、しゃにむに町長に提出した。この内容で、どのように仕事をするのが疑問。町長からアクションがなく、議会側でもどのような議論をしているか、一つも出てこない。</p>	<p>自治基本条例は、基本的に行政側が(住民各位に)策定委員として(の就任を)お願いしており、議会側として「ああしろ」「こうしろ」と述べることはならないということが、基本的な考えである。</p> <p>また、策定委員会から行政に対して最終的な報告が出されたのが先月、1月18日であるというふうに聞いている。</p> <p>議会側には、今月23日に開催が予定されている総務文教厚生委員会で、議会側に初めて自治基本条例の内容が示される予定になっている。</p> <p>内容検討していく中での話であれば、検討委員各位が行政側に対応等を求めていただく形になるのではないかと。</p>
<p>町民が(議会での動きを確認するのに)一番頼りにしているのは、議会だよりである。町長が何をしているのかは町広報誌、農協であれば組合員通信である。</p> <p>限界集落という問題がある。一般質問で出たことはないし、町広報や組合員通信に出たこともない。</p> <p>日進の集落の方が中心となって、東京農大の先生を講師に招き、どういう物(農作物)をつくっていくか、研修会が行われるそうだが、議会だより・町広報誌・組合員通信では、そういう集会が開催されることも触れられない。TPPが始まったら、農産物や町の生活などは、ひとたまりもない。</p> <p>今ある農家戸数は、10年経てば半減するだろう。</p>	<p>おっしゃっていた集会は、本日、先ほど終了した。産業に関しては議会も関心がないわけではなく、TPP問題もあり、真剣に考えていかなければならない。</p> <p>限界集落という部分が、本町に該当するかしんないかわからないが、危機感がないという話をされるのであれば、農家個々でもそういう部分が足りないのかなということは、自分も含めて感じるころはある。</p> <p>将来に向けて何とかしなければ、という意識づけ、機運を高める取組は、行っていかなければならないと思っている。</p>

<p>そうになったら、町は成り立つのか。議会がどう動くのか。</p>	
<p>現在検討されている議会基本条例案を見るかぎり、年1回以上の議会報告会の開催を規定することで検討されているようである。非常にいいことだと思うが、今回のような(住民参加が少ない)形では、去年も同じ状況で、何も反省していなかったのかと思ってしまう。</p> <p>先日、社会福祉協議会、ボランティアセンター主催で東日本大震災被災地支援活動報告会を行ったところ、九十数名の住民が参加していた。</p> <p>議会議員は、町民の代表である。そういった方の話に興味を示さないような状況、こういった形になるのは、なぜなのか。昨年の状況を見て、反省されただけである。こういった会を継続いただき、議会全体で工夫して、来年こそは会場に入りきらないくらいの住民が集まる努力をしてほしい。</p>	<p>議員個々でも、参加要請を行ってきた。</p> <p>議会基本条例に、年1回以上の議会報告会開催を盛り込む検討をしており、十分な反省に立って、来年こそは会場が満員になるような方法を模索し、住民皆様方の知恵も借りながら進めていきたい。</p> <p>議会改革に関しては、本町が管内でも一歩先を行く取組を行っている。各議員が先駆者になり、いろいろなことをさせていただいている。</p>
<p>報告会の開催にあたっては、参加者にわかりやすく、どうすれば多くの参加者が集まるか、十分工夫して取り組んでほしい。</p>	<p>行政では「ふれあいトーク」を行っており、こちらも出席者数に関して頭を悩ます部分があるそうである。</p> <p>議会も十分な反省に立って、今後取り組んでいきたい。</p>